

## ひよこ組 11月のクラスだよ!



2020年 11月10日(火)



園庭にあるクヌギの木にどんぐりが、10月にたくさん実りました。でも、ひよこ組の子どもたちには、もし、口に入れて喉につまらせては大変と、遊ぶことを控えていました。

11月に入り、他のクラスの子も十分に遊んだ後なので、もう残っていないと思っていたところ、木の下草むらに1個、2個と落ちていました。遊んでいたひよこ組の子どもたちがそれを見つけ、「あー!」と言って拾ったのです。

しっかりと握りしめ、時々手を開いては見ながら、口に入れることはなく、これがどんぐりなんだと、丸くてかたい感触を味わっていました。口に入れて確かめる時期から視覚や触覚で物を認識する力が育ってきていることを感じました。

♪どんぐりころころや♪どんぐりコロちゃん♪の歌遊びと共に子どもたちが身近な自然にも触れることができることを嬉しく思いました。



### ☆新しいお友だちです

K・A くん

仲良く遊びましょうね



### ☆手をつなぐと、楽しさもつながるみたいです。

歌にあわせて「おててをつないでみて」と保育士が誘うと子どもたち同士が手を出し、指を持ったり、手のひらを合わせたりして、なかなかつなげなかったのですが、繰り返すうちにつなぐことが出来ました!

保育士の手とは違って自分と同じ大きさ、やわらかな手に、子どもたちはお互いに相手の〇〇ちゃんを改めて意識したようです。



### ☆お絵描きしてみようかな?

指先の力がしっかりしてきて、クレヨンなどを持って画用紙に自由に線画を描くようになりました。

始めはクレヨンに興味を持ち、クレヨンの巻き紙を破ったり、トントン叩いたりしていましたが、保育士が描くのを見て、子どもたちも跡を追ってびゅーと曲線を描きました。腕もまわしてぐるぐる、キコキコ、様々な線と点で素敵な抽象画ができました。



(福岡 今丸)



2020.11.10(火)

足元を踊る色とりどりの落ち葉や風の冷たさを感じる季節となりました。一段と日が暮れるのが早くなり、朝は布団から離れがたい日もありますね。これからどんどん寒くなってきますが、身体をたくさん動かして元気に過ごしていきたいと思います。

### 「おおきなあれ!!!」

球根を始めて見た子ども達は「これなあに？」と不思議そうに眺めていました。「ちゅうりっぷの赤ちゃんだよ！みんながちゅうりっぷ組になる頃に いろんな色のちゅうりっぷが咲くといいね!!!」と子どもたちと会話をしながら 球根を植えました。



### ☆絵本の紹介☆

「おべんとうバス」  
「みんなそろいましたか？」  
「まだで一す！」  
と元気いっぱい返事をしてくれるすみれ組の子どもたちです。



### ～今月の壁面～

♪ やきいも やきいも おなかが  
グー ほかほか ほかほか  
あちちのちー たべたら なくなる  
なんにも ぱ～ それ やきいも  
まとめてグーチーパー♪

皆で焼きいも作って飾ったよ!!!



### ★新しいおともだち★

11月から新しいお友だちが  
入りました！  
O・Mちゃんです。  
これから たくさんあそぼうね！



### ～お知らせ～

寒くなり、上着を着て登園することが増えてきています。記名をお願いします。



第8号

令和2年11月10日(火)

赤や黄色に色づいた桜の木の葉が風に吹かれてひらひらと舞い落ちていきます。立冬を迎え、暦の上ではもう冬になりました。少しずつ寒くなってきましたが、子ども達は園庭で追いかけてっこをしたり、滑り台を滑って遊んでいます。これからみんなで園外へ散歩に行こうと思っています。



### カラスって でっかいね！

空を見上げていたみとちゃんが「先生、カラスがいっぱい！」と教えてくれたので覗いてみると、かなり上空を6羽のカラスが鳴きながら飛んでいました。一緒に見ていた子ども達は「カーカー」と鳴き声を模倣していました。その日からカラスに目が向くようになった子ども達。道路の向かい側の家のベランダでカラスが「カァカァ」鳴いているのに気づいて見ていると、目の前の電線に飛んできて「カーカー」と鳴き始めました。「うわあ〜でっかい！」と驚いている子ども達に「何で鳴いてるんだろうね？」と問いかけるとカラスをじっと見ていました。「カラスのお家は山にあるのよ。赤ちゃんがお腹が空いたよってお母さんを待っているのかもしれないね。」と保育士が語りかけ『ななつのこ』を歌い始めると、子ども達との合唱になりカラスを見送りました。一人ひとりの胸にその後のカラスの夢を残したことでしょう。



### 絵本「おむつのなか、みせてみせて！」

知りたがり屋のねずみ君は、友だちにおむつの中を見せてもらい、どんなうんちをしているのか確かめていきます。最後に友だちから「おむつの中を見せて！」とお願いされたねずみ君が、おむつの中を見せると…空っぽでなにもありません。驚いている友だちに、トイレを指して「うんちはトイレでするんだよ！」と教えるねずみ君。それからはみんなおむつを外し、トイレに座るようになった…というトイレトレーニングのお話です。

いつも子ども達から「もう一回読んで！」と催促される絵本です。



### 今日のうんちはどんな形かな？

「先生、うんち…」とトイレに行く子が増えてきました。「うんちでたよ！」と大きな声がトイレから響き「はい」とトイレへ急ぐと「バナナうんち」「つぶつぶうんち」「だんごうんち」と自分のうんち自慢をしてくれます。これからもトイレでする子が増えるように見守っていきたいと思います。また、パンツとズボンを膝まで下して排泄する練習を始めています。

子ども達は日々の読み聞かせ絵本から、いろいろな言葉や多くのことを学んでいます。



2020年11月10日(火)

園庭の木々も葉を落とし立冬を迎え、朝晩は肌寒い日も多くなってきました。皿倉登山やマラソン大会を終え、心も体も強くなった子どもたちは、そんな寒さに負けず、「早く外で遊ぼう!」と元気いっぱいにあそんでいます。まだ自分の思いを言葉にして上手く伝えられずトラブルになってしまうこともあります。自分の気持ちを自分なりの言葉で表現し、また相手の気持ちにも気付くことができるような思いやりの心の成長も支えていきたいと思っています。



### “おちばおんせん”できあがり☆

保育室に「どんぐりむらのどんぐりえん」という絵本を置いています。子どもたちはこの絵本が大好きで机の上に広げ友だちと一緒に「カメラマンのどんぐりがいるよ」「個のプリン壊れとるやん」など話しながら読んでいます。ある日園庭で遊んでいると「どんぐり園みたい温泉作ろう」と一颯くん。周りにいた子どもたちと一緒にさっそく落ち葉集めを始めました。「見て、この葉っぱ大きいよ」「赤い葉っぱもあった」と友だちと見せ合いながらビニール袋いっぱい落ち葉を拾い集めると次は温泉づくりに取り掛かります。シャベルを使い砂場に穴を掘っていきます。なかなか穴は大きくなりませんでした。諦めず、「こっちも掘ったら大きくなりそう」「私は穴の中に入って掘るね」と友だちと工夫しながら掘っていました。大きな穴が掘れると落ち葉を入れ“落ち葉温泉”の完成です。

「温かいね」「気持ちいい」と友だちと協力して作った温泉は格別なようです。



### 「いち・に・さん・し!!」

今月から強い身体と心をつくるために毎日昼食前に乾布摩擦とマラソンをしています。初めての乾布摩擦に、最初は戸惑っていた子どもたちでしたが、今では「いち、に、さん、し!」と元気なかけ声が、これから北風とともにやってくる寒い冬を吹き飛ばそうといわんばかりに響いています。

### えっと…

毎朝、検温器の前にたち熱を測っている子どもたち。測り終わると「えっと、3、6、4?」と保育士に確認しながら体温を読むことができるようになってきて、毎日繰り返す事の大切さを改めて感じています。

3歳児担任：草場・尾崎

## ひまわりだより

令和2年11月10日(火)

立冬を迎え、暦の上では冬となりました。園庭の木々も葉を落とし、肌寒い日も増えてきましたが、登山やマラソン大会を乗り越え、心も体も強くなった子どもたちは、そんな寒さに負けることなく「外で遊びたい」と元気いっぱいです。最近、簡単なルールのある遊びを集団で楽しんでいます。遊びの中で、トラブルになると、「どうしたらいいのか」を子どもたち自身で考えようとする成長した姿もみられるようになりました。



### 皿倉登山がんばるぞー！！

秋晴れの中、皿倉登山に行きました。登山口からは3歳児と一緒に手を繋いで8合目を目指します。途中、山道を歩く5歳児が見えると「たんぼぼさーん」と元気に手を振る子どもたち。そんな子どもたちも少し疲れがみえてきたと思われる時に6合目につきました。6合目で“元気が出る飴”を食べると「パワーがでてきた」「もう少しだから頑張ろう」と再び元気に歩き出しました。3歳児の友だちに「大丈夫?」「もうすぐ着くよ」と優しく励ましの声をかける姿に成長を感じ嬉しく思いました。8合目につくと「やったね」「みんなで登れて楽しかった」など、達成感を味わっている様子の子供たちでした。

### 寒くないよ

強い身体と心をつくるために、昼食前の時間に乾布摩擦とマラソンをしています。服を脱ぐと初めは寒そうにしている子どもたちですが、「いち、に、さん、し!」とかけ声をかけタオルで擦るうちに、「暑くなってきた」と話しています。乾布摩擦のあとは園庭に出て、「もう5歳になるから、5周走る」と子どもたち自身で決め、元気よく走っています。

これから体調を崩しやすい時期になりますので、体調の悪い日は連絡帳や登園時にお知らせください。

### わっしょい わっしょい！！

登山を終え、「次はマラソン大会だね!」「ひまわりさんやけ、4キロ走るんよね」とマラソン大会に向けて、気合い十分の子どもたち。当日、ゼッケンのついた体操服に着替え、ハチマキを巻くと「早く走れそう」とさらにワクワクした様子でした。スタートの合図とともに勢いよく保育園を飛び出し、「わっしょい! わっしょい!」とかけ声をかけながら走っていきます。途中で少しスピードが落ちてしまう子どもが数人いましたが、保護者の方や、子どもたちの元気な声を聞いて、お店から顔をだしてくれたり、すれ違ったりする地域の方々からの声援、また友だちからの「頑張れー!」という声に元気を取り戻していました。そして、無事に全員そろってゴールすることができました。「みんなで走れて楽しかった」「もう少し走れるよ」など話し、4キロという決して短くはない距離ですが、疲れを見せずに元気いっぱいの子どもたちでした。

登山やマラソン大会を経験する中で、最後まで諦めずやり遂げようとする力や、友だちを思いやる優しい心の成長を感じました。子どもたちの心身の成長を大切に、これからの成長の基礎としてつなげていきたいと思ひます。



4歳児担任：崎野



発行：令和2年11月10日（火）

足元を踊る色とりどりの落ち葉や肌に触れる朝晩の風の冷たさに、晩秋を感じる季節となりました。秋晴れの日が続く、日中は陽差しの暖かさを感じられますが、7日には立冬を迎え、暦の上では、もう冬が訪れました。この秋にさまざまな行事を経験し、心身ともにたくましい成長を見せ大きな実りをつけた子どもたちに、“生きる”力強さを感じています。



### みんなで頑張ろう！

5キロのコースを“わっしょい！！”と元気な掛け声とともに走り出したたんぼぼ組の子どもたち。集団の列から遅れた友だちには「頑張れー！」と励ます声上がり、その声に力をもらった子どもは、元気を取り戻し走りました。時折疲れた表情をしていましたが、地域の方からの声援でパワーが加わり、友だち同士「もう少し！」「みんな、頑張るよ！」と励まし合いながら、最後まで“わっしょい”と大きな声で掛け声をかけ元気に走り、無事全員でゴールすることができました。頬を赤く染めた子どもたちは「みんなで、5kmも走れたね！」「やったー！ゴールできた！」「まだまだ走れそう！」と皆で走りきった達成感を喜び合いました。

子どもたちで励ましあい、最後まで諦めずやり遂げようとする強い心や、友だちを思いやる優しい心の成長も感じることができ、胸が熱くなりました。子どもたちの人間的な成長と温かい思いやりの心を大切な人間としての成長へと繋げていくことができるように支えていきたいと思ひます。

### 曇って不思議

野菜のお世話を終え、畑から帰ろうとしていたときのこと。「先生見て！！」と子どもたちが空を指さしました。空を見上げてみると、羽毛のように広がったすじ雲があり「あの雲、何か綿菓子みたい」「シュワシュワのジュース（炭酸）飲んだときみたい」と話している子どもたちに発想や感性の豊かさを感じました。

その翌日、園庭で遊んでいると子どもたちがまた「空がすごい！！」と声を上げました。何だ何だ？と他の子どもたちも空を見上げると、空一面に羊雲が広がっていました。見たこともないような空に「うわー…」と声を上げ、一瞬時が止まったような感覚さえ感じられました。そんな風景に「マシュマロみたいで美味しそう」「フカフカのお布団みたい」「空のお布団だね」とこの時期ならではの幻想的な風景に感性の豊かさがさらに盛り上がった日でした。



### お知らせ

11月13日（金）に、たんぼぼ組の子どもが、天疫神社へお参りに行きます。

地域を守って下さる氏神様に、元気である今に感謝するとともに、ふたば保育園の皆が健やかでいられるように、参拝します。

5歳児：桑原・田中